

中高生から「子を持つ」意識を

プレコンセプションケア

妊娠前から知識身につけて

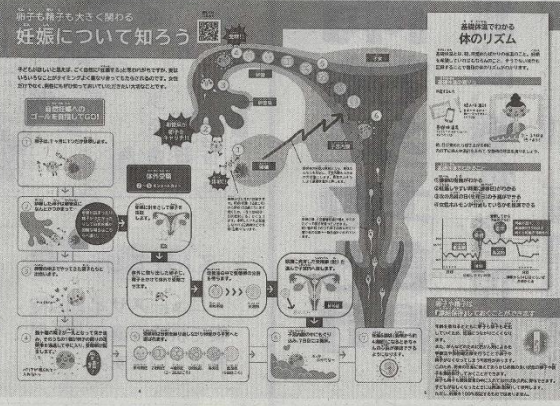
多様な生き方が広がり妊娠や出産が高齢化する中、中高生のうちから将来子どもを持つ選択肢を踏まえた知識を身に付けてもらおうと、岡山県が妊娠前の健康管理「プレ

東京都の卵子凍結助成事業が反響を呼ぶなど将来の妊娠や出産に岡山県が立ち上げたプレコンセプションケアや性について学べるウェブサイトのパンフレット

備える需要は大きい。一方で中塚教授は、年齢を重ねるにつれ妊娠する力が低下することを知らず不妊外来で落胆する例が後を絶たない指摘。「ライブ

ランに正解や不正解はないが、後悔しないよう早いうちから知識を身に付けて」と呼びかける。

サイトでは①妊娠の仕組み②性感染症などのリスク③不妊症と不育症の原因や治療法④女性の健康課題を解決に導く製品やサービス⑤フェムテックや卵子・精子凍結保存の技術⑥性の多様性など幅広い情報を体系的にまとめた。



岡山県 サイト立ち上げ

プレコンセプションケアや性について学べるウェブサイトを立ち上げた岡山県の中塚幹也教授



プレコンセプションケアや性について学べるウェブサイトを立ち上げた岡山県の中塚幹也教授

プレコンセプションケア 将来子どもを持つ可能性を踏まえ、男女ともに健康に向き合い、妊娠や出産に関する正しい知識を身に付けること。生殖可能な年齢の全ての人が対象。妊娠を目指す「妊活」だけでなく、パートナー間の関係の在り方や婦人科疾患を学んだり人生設計を考えたりと内容は幅広い。思春期の摂食障害や月経不調の放置、性感染症が妊娠や胎児に悪影響を及ぼすこともあり、若い頃から知識を得て健康管理することが重要とされる。

最近交流サイト(SNS)などで簡単に知識を得られるが、誤った情報に振り回されてしまう人も少なくない。中塚教授は保健の授業など、学校で教わる内容も十分ではないとし「保護者や医療・教育関係者にもぜひ活用してほしい」と話す。アドレスは <http://s/mirahense.ntakushi.jp>